



編集雑記

既刊案内 (特集・主要記事)

[4月号]

◎「シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.29」東洋大学総合情報学部 総合情報学科 教授 大塚佳臣氏を訪ねて 心理統計学、計量経済学など複数の手法を駆使して社会・環境問題の解決に取り組む～廃棄物リサイクルの現場から東大都市工学を経て社会的アプローチへ…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎水素・燃料電池戦略マップを策定しました…経済産業省 ◎地域経済循環分析ツールの改定について…環境省 ◎「建設業法及び公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の一部を改正する法律案」を閣議決定…国土交通省 ◎「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部を改正する法律案」を閣議決定…国土交通省 ◎平成29年度 家庭部門のCO2排出実態統計調査の結果(確報値)について…環境省 ◎住宅ローン、変動金利型…国土交通省 ◎フロン類の廃棄時回収率向上に向けた対策の方向性について…産業構造・中央環境審議会 ◎平成31年「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を実施します…厚生労働省 ◎「明日への道標」パラノイアだけが生き残る～アンドリュウ・グロープの妄想～…㈱日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎「新連載」どうする? 地方小規模水道(1)富良野高校×北海道総研×北大の取り組み…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎★いま注目のLIXILショールーム-PART 3 -…月刊コア編集部 ◎「東京ブラリルポ」東武沿線 ハッピーロード大山商店街(一社)スマート水道推進協会会長・㈱日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎「特別連載」ウィーン旅の赤恥 笑辞典(第10回)…弁護士 野平大魚 ◎新「撮った写真が5万枚!?」…IDE研究所 いでこうじ ◎「見てきたような話」⑩ 女性が好きな男のタイプ…低空飛行機 ◎建築着工統計(2019年1月)…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子

[5月号]

◎「シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.30」立命館大学理工学部都市工学科 教授 惣田 訓氏を訪ねて 微生物を活用し排水処理に取り組む～新たに人工湿地を活用し 釜山排水処理、インド工科大学との交流も…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎「ホテル又は旅館における高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計基準(追補版)」の公表…国土交通省 ◎「国土交通省インフラシステム海外展開行動計画2019」を決定…国土交通省 ◎平成31年度における環境物品等の調達推進を図るための方針…環境省 ◎土地や建物に関して地方公共団体が保有するビッグデータ(都市計画基礎調査)のオープン化を進めます!…国土交通省 ◎平成30年度地中熱利用状況調査の結果について…環境省 ◎新たな「水辺を生かしたまちづくり」が始動～全国22箇所の「かわまちづくり」計画を新規登録!…国土交通省 ◎FIT制度における2019年度以降の買取価格・賦課金単価等を決定…経済産業省 ◎主要都市の地価は97%の地区で上昇基調～平成30年度第4 四半期は、長野駅前ではじめて上昇…国土交通省 ◎福島復興の現状を伝える動画を作成しました…経済産業省 ◎平成30年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」入賞作品決定…国土交通省 ◎「明日への道標」地を異にするも心はおなじ～社会界の華 陸奥亮子…㈱日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎「新連載」どうする? 地方小規模水道(2)富良野高校×北海道総研×北大の取り組み…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎「東京ブラリルポ」聖蹟桜ヶ丘近辺明治天皇の騎馬像 満州開拓民の鎮魂碑…(一社)スマート水道推進協会会長・㈱日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎「特別連載」平成を偲ぶ パロディ狂歌集(1)～平成役人百首…弁護士 野平大魚 ◎「見てきたような話」⑪ 口説き文句…低空飛行機 ◎新「撮った写真が5万枚!?」…IDE研究所 いでこうじ ◎建築着工統計(2019年2月)…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子

音楽仲間のKさんと最後に会ったのは今年の12月22日だった。紅白歌合戦のライブハウス版イベントで颯爽とパーカッションを叩いていた。新年を迎えて急激に体調が悪化し、春先から入院生活を送っていたと訃報のあとで知った。

練馬にある通夜の会場では生前レコーディングした演奏が流れていた。若い頃はプロをめざしてインディーズ・デビューをしたらしい。がっしりした大男でいつも周囲を明るくする人気者だった。やさしいまなざしで年下のわたしにも丁寧な口調で接してくれていた。60歳を過ぎて内装の会社を立ち上げ、休日も返上して働いていたという。

酒が好きで毎晩のように友人たちと飲み歩いていた。それを知っているせいか参列した人々も酔って陽気に振る舞っていた。ベースの友人の車に同乗して帰宅する途中、わたしは葬送行進曲の『聖者の行進』を口ずさんでいた。アメリカ・ルイジアナ州のジャズ発祥の地ニューオーリンズではブラスバンドが墓地まで悲しげに演奏し、埋葬後は祝祭のようにパレードをしながら帰っていくという風習がある。歌詞はルイ・アームストロングが独特のしわがれ声で歌って有名になった。

17世紀に始まった奴隷貿易でアフリカから連れてこられた黒人たちは過酷な労働を強いられた。奴隷にとって死は苦役から解放される祝福のときを意味していた。甦った自由な魂は聖者となって歌い、踊り、奏でながら晴れやかに行進していく。ソウル・ミュージックを愛したKさんなら真っ先に聖者の列に加わっているだろう。(高倉)

給排水・衛生・環境設備の総合誌

月刊「コア」第355号

令和元年6月10日発行 定価1,000円(本体926円)

発行編集人 高倉克也

印刷所 (株)日本設備工業新聞社出版事業部

発行所 〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13

(野元第1ビル)(株)日本設備工業新聞社

TEL (03) 3496-4774(代)

FAX (03) 3464-1884